

能登半島地震災害支援対策委員会 ニュース 第5号

2024年9月25日発行

発行所 日本ホーリネス教団能登半島地震災害支援対策委員会

発行人 佐藤 義則 編集人 竹内 義晴

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1

TEL 042-394-7466 FAX 042-392-2877

ボランティア&会計報告(中間報告)

みなさまご存じの通り、能登半島は1月1日の地震で大きな被害を受け、復興に向けて頑張ってきたさなか、9月21日、22日の豪雨により、各地で河川が氾濫し、再び大きな被害を受けてしまいました。地震からすでに9ヶ月が過ぎ、支援活動も本来なら、仮設住宅でのカフェイベントや、子どものための集会等の働きにフェーズが移っている時期であり、事実8月末のチームはそのような働きを行っていたのですが、文字通り降ってわいたような水害のため、家が浸水し、町は砂埃で目を開けて歩くことができず、地震とは別の新しい災害に対応しなくてはならない状況となっています。

そのような中、9月23日(月)~26日(木)の日程で、東京聖書学院の修養生、関係者17名で、能登半島での災害支援ボランティアの活動が行われました。

23日(月)朝、車4台で聖書学院を出発、夕方には内灘聖書教会に到着、女性は内灘聖書教会に男性は羽咋市の宿舎に宿泊しました。

24日(火)は各地からのボランティアが集まり、7チームに分かれて各地で作業を行いました。聖書学院のチームは二つに別れて、輪島市内の浸水したお宅と輪島市門前町の浸水したグループホームでの水抜きや泥出しの作業、25日(水)は、5チームに別れて輪島市内各地で作業を行い、聖書学院のチームはそのうちの2個所に送られました。幸いなことに現地には全国から多数のボランティアが集まり、被災家屋や住民の皆様のために活動しています。今回も私たち能登ヘルプのボランティアは多くの個所で他の団体のボランティアと共に活動しました。

とはいうものの、現地では今後まだ長期間にわたる支援活動が必要とされています。特に浸水害の対応には多くの人手が必要です。現地に冬が訪れる前に十分な支援を行うことができますように、皆様のお祈りと御協力をお願い申し上げます。

聖書学院のチームは明日26日朝に現地を出発し東京に戻る予定です。

引き続き被災者のためにお祈りください。

ここまでの活動のご報告と、会計についても中間報告をさせていただきます。

<ボランティア派遣>

- ・第2回：7月29日(月)~8月2日(金)
影山光牧師をリーダーとして7名参加
 - ・第3回：8月19日(月)~8月21日(水)
影山光牧師をリーダーとして6名参加
 - ・第4回：8月26日(月)~8月30日(金)
山田智朗牧師をリーダーとして2名参加
- それぞれ、輪島市と珠洲市で家財の運び出し、輪島市でビニールハウスの解体、志賀町のお宅の家具等の移動作業、能登町の学童クラブの夏まつりのお手伝い、ラブイーストのお手伝いで志賀町の仮設住宅の「笑いヨガ」のイベントに参加と多岐にわたる作業を行ってきました。

<会計報告>

9月5日時点の中間報告となります。

献金総額(収入)： 8,030,697円

支出：

ボランティア活動費(4回の総計)	407,989円
外部献金	
能登ヘルプ	1,000,000円
石川県への義援金	1,000,000円
被災教会への献金	
日キ・輪島教会	300,000円
シオンが丘教会	300,000円
七尾聖書教会	100,000円
JEA	300,000円
緊急支援基金へ	401,535円
支出総計	3,809,524円
能登半島献金残	4,221,173円

現在、「ボランティアの参加案内」(教団ホームページにも掲載)が各教会にも届けられていますが、10月21日(月)~25日(金)の日程でボランティアチームの派遣を計画しています。参加を希望される方は、まずは「参加案内」にしたがってご相談ください。

(連絡先：mc.hikaru0325@gmail.com)

災害支援献金について

◎災害支援献金の送金先

(郵便振替) 00190-4-545635

(口座名) 日本ホーリネス教団緊急支援対策室

※5%は「緊急支援基金」へ繰入れ

※教団ホームページにも関連情報を掲載しています。